



○1月20 大寒 春が待ち遠しいですね。



1月20日 大寒(だいかん)は二十四節気(1年を24に分けた暦)の最後の暦で、一年で寒さが最も厳しいという意味があります。ここを過ぎると次は、最初の暦にあたる2月3日の「立春」です。昼間の日差しに少しずつ春を感じられるようになりました。今週末は、全商簿記検定が実施されます。本校の1,2年生はほぼ全員が受験します。インフルエンザ等も広がりを見せる中、感染予防に細心の注意を払いつつ合格を目指しています。3年生は、来週が最後の学年末考査になります。  
是非ご家庭でも、エールを送っていただけるとありがたいです。がんばれー!!

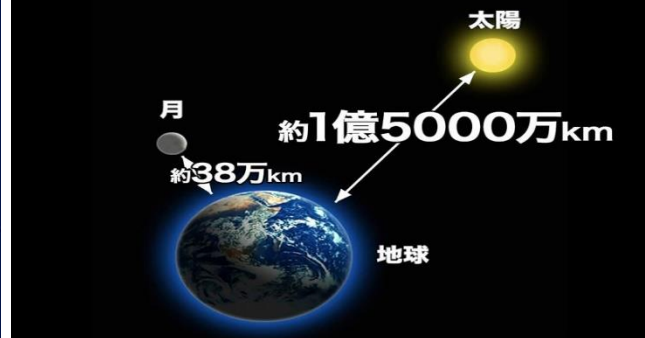
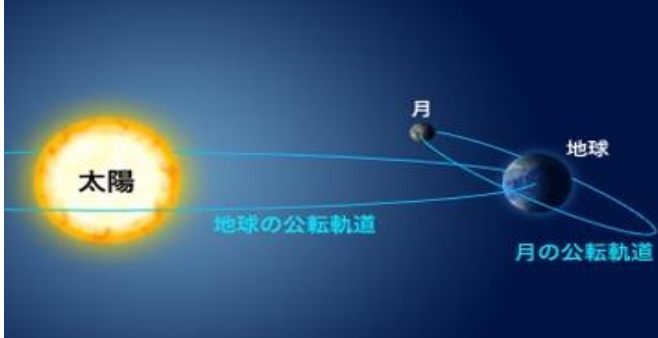
○「人との出逢い、本との出会いを通して」 宮本延春氏から学んだこと

みなさんは、宮本延春(みやもと まさはる)氏という方をご存じでしょうか。私は、以前この方の講演を聞く機会があり、その話に魅了され、涙を流しながら伺った記憶があります。始業式にみなさんに話した「人は見えている視野の中からしか、未来は見えない(未来を選べない)」という言葉は、宮



本氏の話をお伺いした際に頭の中に記憶した言葉です。1969年生まれの彼の人生は波乱万丈で、1歳で養子として預けられ、幼少期に壮絶ないじめを経験し、学校が嫌いになり、中学校1年の時に「オール」の通知表をもらうほど落ちこぼれて高校進学を断念しました。仕事は、中学を卒業して、見習い大工として働き始め、当時7万円の給料で生活の全てを支え何の楽しみもなく、ただ<生きる>ためだけに生きていたようです。16歳で唯一の理解者であった母親を亡くし、18歳の時に父親も病気で亡くし天涯孤独の人生が始まりました。そして、少しでも強くなりたいと「少林寺拳法」を習いはじめ、そこで奥様に会い、彼女が貸してくれたビデオを通じて、「NHK アインシュタインロマン」に感銘を受け、「物理学」に関心を持ちました。そして、物理学を

学びたいと大学受験を考え、23歳で小学三年生の算数ドリルの独学がスタートしました。また、24歳の時に定時制高校へ入学し、27歳で名古屋大学理学部物理学科に合格し、大学院まで進み、9年間物理の研究に没頭しています。宮本氏の話の中で、印象に残ったのが、「『特にやりたいこともない』と思っているでも、あなたの視野の中に、興味関心のあるものが無いというだけで、この世のどこにも無いとうことにはならない」「すべきことはただひとつ、自分の視野を広げること」という言葉です。確かに、彼は逆境の中で、出逢うすべての出来事が、人生という一本の道を形成していく要素になり、人生に変化をもたらしています。「宇宙を感じる七日間」という本は、彼が物理学を通じて宇宙の不思議を学び、読者に宇宙という広がりを感じさせ、自分の小ささと同時に、自分の存在の重要性を再認識させてくれています。生きることを積極的にさせてくれる本です。是非ご一読ください。





○トコトン!ボーイ、トコトン!ガール みーつけた。(挑戦することを決めた生徒を紹介します)

35HR (H・Aくん) 学級委員長 バスケットボール部

彼は、情報技術を学びたいと思い本校へ入学し、180cmの高身長を生かしたいと初心者ながら



バスケットボール部(以下バスケ部)に入部しました。バスケは、チームプレーが重要な団体競技で、周囲の動きを瞬時に理解して自分の動きが決まる。それが理解できるようになったのが、高校2年生の3学期頃で、それからさらにバスケが楽しくなりました。チームの中で時々意見が食い違うことがあっても、最適解を導こうとそれぞれが努力し最高のチームになりました。また、バスケはそれぞれの役割が異なっており、顧問の中村純平先生が一人一人に、細かく動きを見せながら指導していただいたと感謝しています。このチームでの経験が35HR 学級委員長として、大変参考になっているそうです。彼は、将来、スポーツでケガした方のために適切な治療ができるようになりたいと医療系の4年制大学への進学を決めました。そう考えるよう

になったのは、以前テレビでケガをした方を鍼灸(しんきゅう)で治す場面を見て、鍼灸師になりたいと思うようになったそうです。さらに自身が足首の靭帯を損傷した時、顧問の先生が連れて行ってくれた整骨院の先生に、治療をしながら鍼灸師になるために必要な資格や将来クリニックを経営するための方法など詳しく伺い、より一層、その資格を学びたい、治療する場をつくりたいと思うようになったそうです。部活を引退した今でも、体のケアに余念がなく、自宅で腕立て伏せ100回、腹筋100回、ダンベル5kgの腕の上下右・左各100回を続けています。「体は、鍛えた分だけ確実に変わります。」「僕が将来治療するクリニックで、中村純平先生が指導する部活動の生徒を責任もって治療したい。」と未来への希望を語ってくれました。彼もいろいろな出逢いの中で、将来挑戦するものを見つけたようです。これからさらに、視野(未来)を広げる出逢いがあることを祈っています。

○3年生、今週高校生活最後の授業です。これまでよくがんばりました。

<p><b>31HR 英語 II</b></p>	<p><b>32HR 数学 I</b></p>	<p><b>33HR 総合実践</b></p>
<p>「my happiness」(私の幸せ)というテーマで英語での発表が各自行われていました。みんなの夢や願いが叶いますように!</p>	<p>数学の授業を通して、日常にある課題を数学的視点で捉え、答えを理論的に導く方法を学びました。今日は「場合の数」の復習です。ナゾナゾみたい。</p>	<p>模擬取引が終了して、授業のまとめを行いました。一番実務に近い授業でした。企業で必ず使う知識ばかりです。この学びを思い出してね。</p>
<p><b>34・35HR AI 演習</b></p>	<p><b>34・35HR 体育</b></p>	<p><b>チューリップ</b>の芽が出ました。</p>
<p>AI 演習の中で、データを分析したりして、最適解を導く技術を学びました。デジタル社会の中で必要な知識です。</p>	<p>体育の授業を通して、いろんな種目の技術や協働で仲間と同じ目標を達成することの大切さなどを学びました。本当に楽しい時間でしたね。</p>	<p>体育館前の花壇に植えられたチューリップが寒さ(試練)に耐え、花を咲かせようと芽を出しました。卒業式前に花が咲きそうですね。</p>